

天中殺の方向と位置

六つの天中殺には、下図のようにそれぞれ方向と位置がある…と考えているのです。

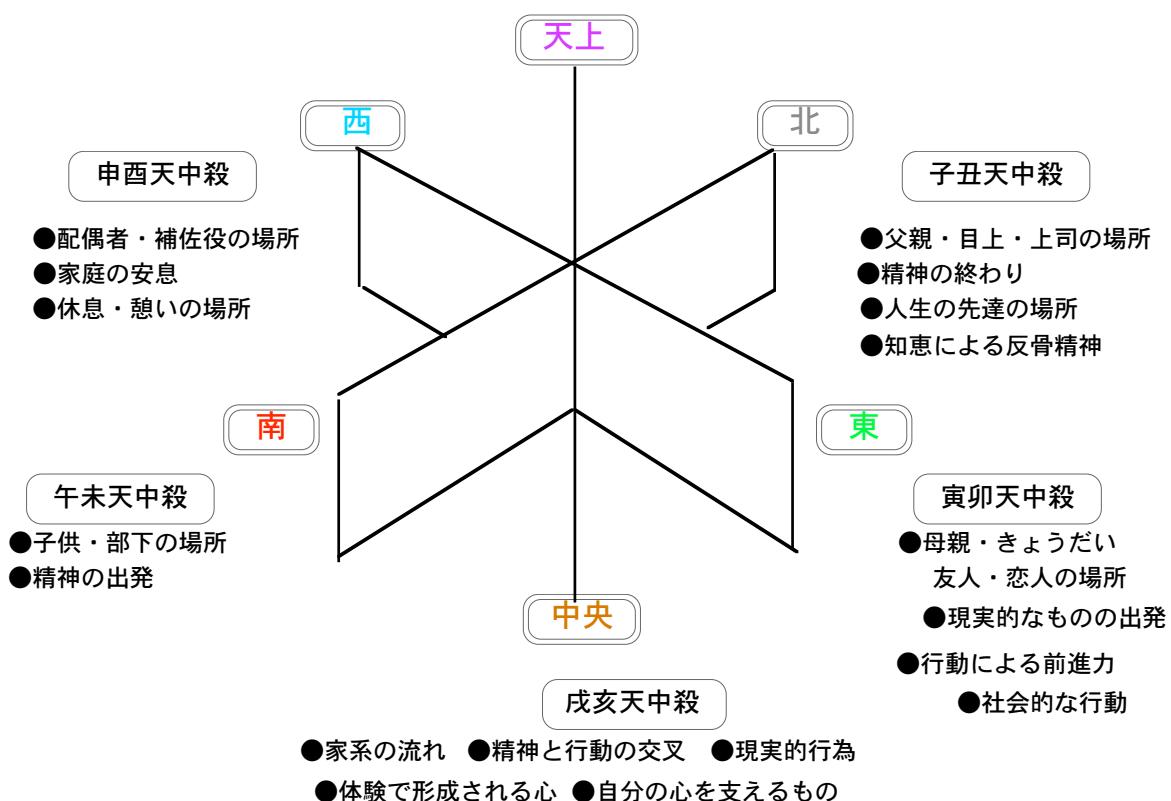
そして、それぞれの場所には意味があり、天中殺になるとその場所が意味しているものが失われやすくなると考えられているのです。(時間と空間が一致していないために起る現象だからです。)

それはその方向や位置が、まるで宇宙に放り出されのような状態になるのが天中殺なのだと考えるのです。

辰巳天中殺

●精神的なもの(理屈・理論)で形成される心

●心の世界



天中殺の宿命は、それが位置している場所と、その場所の意味するものが失われやすくなるのです。

そうしますと、自分が位置している場所とは正反対の位置の意味するものを本能的に引き入れようとするのです。

例えば、寅卯天中殺の場合だと東に位置していますが、東の場所が意味している「母親」や「きょうだい」「友人」などにとくに縁が無くなるわけです。そうしますと、東とは正反対に西が位置する場所の意味に本能的に片寄りがちになります。西の場所が意味しているものは「配偶者」「補佐役」「家庭」「休息」「憩い」ですから、西の意味しているものを自分自身では気がつかなくても、積極的に取り入れようとするのです。

同様に、北に位置している『子丑天中殺』の場合は、南の場所が意味しているものを、そして、西に位置している『申酉天中殺』は東の場所が意味しているものを、天上に位置している『辰巳天中殺』は中央を、それとは逆に『戌亥天中殺』の場合だと天上が意味しているものを……というように、それぞれ本能的に求めて引き入れようとするのです。